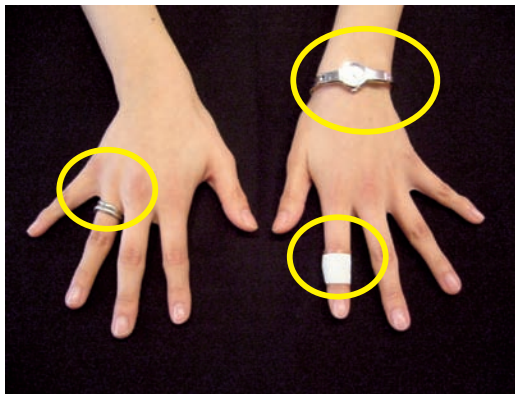
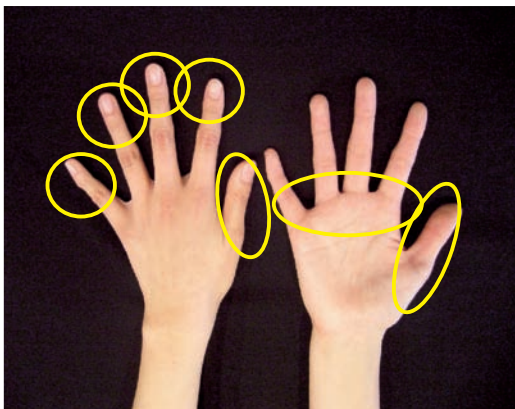


学校給食における標準的な手洗いマニュアル



1 手を洗う前に

時計や指輪をはずします。
爪は短く切ります。
手に傷等があれば適切に処置し、手洗い後に、手袋を着用します。



2 洗い残しのない手洗いを

洗い残しの多い箇所は○の部分です。

「学校給食衛生管理の基準」より

学校給食調理員は、以下の点に留意して調理作業に当たること。

イ 次に定める場合には、必ず手指の洗浄及び消毒を行なうこと。

- ① 作業開始前及び用便後
- ② 汚染作業区域から非汚染作業区域に移動する場合
- ③ 食品に直接触れる作業に当たる直前
- ④ 生の食肉類、魚介類、卵、調理前の野菜類等に触れた後、他の食品や器具等に触れる場合



- | | |
|--|------------|
| ① 作業開始前及び用便後 | →→→標準的な手洗い |
| ② 汚染作業区域から非汚染作業区域に移動する場合 | →→→標準的な手洗い |
| ③ 食品に直接触れる作業に当たる直前 | →→→作業中の手洗い |
| ④ 生の食肉類、魚介類、卵、調理前の野菜類等に触れた後、
他の食品や器具等に触れる場合 | →→→作業中の手洗い |



3 流水で軽く手を洗う

まず、流水で手に付いた汚れを落とします。汚れを落とすことで、石けんが泡立つようになります。

●手を洗っている間は、水の流しっ放しに注意しましょう！



4 手洗い用石けん液をつける

手洗い用石けん液を適量、手にとります。

<→参照:参考資料(6)>

●石けん液の使用濃度を守りましょう！



5 十分に泡立てる

手の平をあわせ、石けんを十分に泡立てます。泡が立たない場合は、水ですすいだ後、4に戻ります。



6 手の平と甲を洗う（5回程度）

手の甲を、もう片方の手の平で十分に洗います。手を組み替えて、両手を洗います。



7 指の間を洗う(5回程度)

指を組んで、両手の指の間を十分に洗います。

指の間は、洗い残すことが多い部分です。



8 親指の付け根まで洗う(5回程度)

親指全体を包みこむように、親指の付け根部分まで十分に洗います。

親指も洗い残すことが多い部分です。手を組み替えて、両手を洗います。



9 指先を洗う(5回程度)

指を立てるようにし、反対の手の平で、指先を十分に洗います。指先も洗い残すことが多い部分です。手を組み替えて、両手を洗います。



10 手首を洗う(5回程度)

両方の手首を、十分に洗います。



11 肘まで洗う

肘まで洗います。



12 爪ブラシで爪の間を洗う

爪ブラシを使い、指先と爪の間を洗います。爪の間の汚れは、ブラシでないと落とせません。

<→参照:参考資料(2)>



13 流水で十分にすすぐ

泡の中に微生物がたくさん含まれているので、流水で石けんが除去されるまでよくすすぎます(すすぎ時間は15秒以上が望ましい)。その際に爪ブラシも一緒にすすぎ、所定の場所に戻します。



14 ペーパータオルでふく

ペーパータオルでぬぐい取るように、水気をよくふき取ることで、付着している微生物をさらに減らすことができ、アルコールの消毒効果も高まります。

<→参照:参考資料(5)>

●ペーパータオルの使いすぎに注意しましょう!



15 アルコールをかける

アルコールが指先にかかるように、手の平で受けます。



16 指先にすり込む

まず、指先にアルコールをすり込みます。
一番微生物の残りやすい指先の部分から、消毒していきます。

<→参照:参考資料(3)>



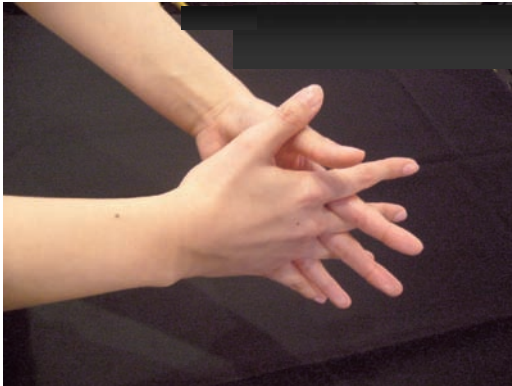
17 親指の付け根まですり込む

親指と親指の付け根まで、アルコールをすり込みます。



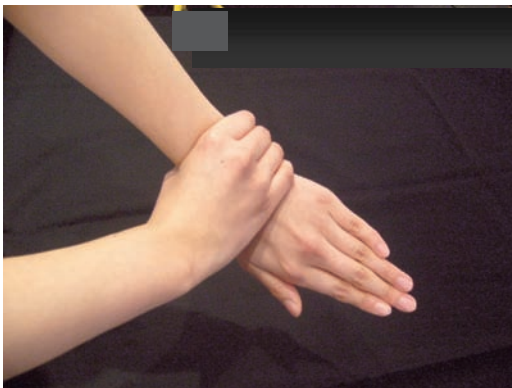
18 手の平と甲にすり込む

手の平と甲にアルコールをすり込みます。



19 指の間にすり込む

指の間にもアルコールをすり込みます。



20 手首にすり込む

アルコールが乾くまで、手首にアルコールをすり込みます。

